

藍

アイ

城東渭山同窓会 東京支部 会報

No.15 創刊15号 平成21年4月1日発行
 発行人 戸田浩二
 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-11-12
 アーバンコート1F マット株式会社内
 電話 03-5213-3447



学校長 早雲 洋一

会員の皆様方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は母校の教育振興と在校生の激励のために特段のご後援を賜り、厚くお礼申し上げます。

城東渭山同窓会が会員相互の親睦を図りながら後輩が学ぶ母校の支援体制づくりにご尽力頂いていることに、教職員一同心から感謝を申し上げます。

本校は明治35年に徳島県立徳島高等女学校として開校され、平成21年度は創立107年を迎えることとなります。「人間性豊かな全人教育を推進し、自主的・創造的能力に富み、民主的で平和的な社会の実現を図る人材を育成する。」を本校教育の基本方針とし教育活動に取り組んでいます。その一部を「学校評価」の重点目標等を参考に、ご紹介いたします。

少子化などで数字上、大学総定員に総志願者数がほぼ収まる「大学全入時代」を迎え、国際比較調査でも明らかとなった、勉強を楽しんだり、将来の夢と結びつけたりすることが相対的に希薄となっている中で、本校では「進路指導の充実と徹底」を目標に、生徒一人ひとりの夢や目標の明確化と職業意識・進学意識の向上や進路実現のために必要な情報の収集と活用を積極的に取り組んでいます。徳島

大学の高等学校生徒対象公開講座への参加は学校外における学習単位の認定につながっています。参加生徒からは「学ぶことが新しく、難しかったが、自分自身のことでもありとても楽しかったし、新しい分野にも挑戦できてよかった。」との感想が寄せられています。

また、サイエンスパートナーシップとして徳島文理大学薬学部において高校では体験できないすばらしい実験環境のもと、大学院の学生の助けを借りさまざまな実験に取り組み、知的好奇心を満たしました。

さらに、徳島大学、穴吹カレッジ、徳島医療福祉専門学校において、学生とともに授業に参加し、将来の学問専攻の参考にしています。1年生を対象とした職業ガイダンスでは実際に現場で働いている社会人の職場体験を聞くことにより、現実的な職業観、勤労観の育成を図ることを目的としています。本年度は生徒が自分の進路や興味・関心を考え社会科学、医療等の8グループ28名の講師を迎え、それぞれの立場からのお話を伺いました。講師の中には同窓生の方もたくさんおいでになり協力頂きました。

自らの進路設計に必要な学問や職業の調査研究のため京都大学オーブンキャンパスへの参加、武田薬品、大阪ガス、神戸税関、住友商事等での企業研修は生徒の学習意欲を喚起するとともに、進路についての意識づけに効果を上げています。

また、本校では「地域や国際社会のリーダーとしての資質や

能力の育成」をめざし、国際交流を積極的に推進しています。特にフランスの姉妹校である、サン・ジョセフ高校より過去5回の来校があり、平成20年10月の来校時にも、本校の授業への参加をはじめ、十郎兵衛屋敷、京都訪問、柔道体験、相撲体験等を通じて本校生徒との交流及び日本への理解を深めました。平成21年3月には本校から5回目の生徒派遣の予定となっております。この姉妹校交流の実施に際し、同窓会からのご支援が交流を可能にしていることに改めて感謝申し上げます。

同窓会のご支援による「君の夢に100万円」は後輩達の夢の実現をバックアップするものとして、今までに7回にわたり16人が受給し、国内外で夢の実現に向け勉強に励んでいます。平成20年度の創立記念講演会では城東第29回卒業生のフェリス学院大学文学部教授谷知子先生が「心・ことば・姿」―日本文化の源流としての和歌―という演題で和歌についてやさしく、わかりやすくお話し頂きました。講演後は教室で生徒と交流の機会をもつて頂き、生徒たちは大喜びでした。

皆様方の心強いご支援のもと後輩達は学習活動はもちろん、体育・文化の両分野に積極的に参加し、活発な活動となっております。

本年度の高校総体では男子バスケットボール、女子バドミントン、女子サッカーが優勝し全国大会へ、さらに文化部でも邦楽部、新聞部、放送部、百人一首部等が徳島県の代表として全国大会で日頃の成果を発揮してくれました。

最後になりましたが、同窓生の皆様、本校の卒業生であることを心から誇りに思ってもらえるような学校づくりに鋭意努力を続けて参りますので、今後とも、なにとぞご支援頂けますようお願い申し上げます。城東渭山同窓会のみならず、ご発展と皆様のご健勝をお祈りし、ごあいさつと致します。

同窓会、だより

東京支部だより

東京支部長 戸田浩二(城東26回卒)

今年の東京支部の総会は定例である6月の第2日曜日、8日に開催されました。

今年の開催場所は、渋谷の東武ホテルです。今回、昨年の参加人数が少なかったこともあり、事務局及び幹事で色々議論した結果、参加の費用を安くするという結論を出したことに由来すると思います。少し、建物が古いということと若者の街である渋谷というのは気になりましたが、終わった後での感想は概ね良かったです。

幸いなことに、今年の参加人数は80名超と昨年の倍以上の集まりに出来たので、会費を安くするのは、方向性として間違っていないと感じています。参加者の構成も、城東26回、27回、30回といったところが増えたというのはいかんなりの前進です。今年、会の冒頭に城東49回卒業生の阿部絵里奈さんが所属するフルートのアンサンブルユニットのメンパー林さんとのデュオによる演奏をお願いしたので、全体として華やかな雰囲気になりました。定例としての総会は、同窓会本部から坂田副会長、城東高校の早雲校長のお話を頂き、学年幹事である城東26回を代表して岡田晃君が乾杯の音頭をとりました。残念ながら、徳女の方が30回の方お一人となってしまうため、寂しい思いをされたかもしれないということでした。徳女の方々は、案内状の送付作業でお手伝いを頂いていますので、総会自体にもっとご参加頂ければと願っています。

私は事務局活動が結構長くなりましたが、今まではどうして総会だけのために活動していた面が有ります。ただ、それではいざ総会を開催するといった時に、「皆さん集まって！」と声を掛けても、なかなか難しいということがよく分かりました。

二〇〇九年の学年幹事に

なつて思うこと

高木由紀(城東27回卒)

本年度、私たち27回卒業生が、総会の学年幹事となりました。昨年の総会に初めて出席させて頂いたが、大変楽しい思いをいたしました。自分たちが総会の取りまとめ役になってみると、何からはじめてよいものか、戸惑いはいっぱいでした。そこで、昨年の総会に出席したメンバーが首都圏在住の同窓生の方々に声をかけ、27回卒業生だけの同窓会を、昨年12月に新宿で行い、二回目を年明けに行いました。

城東高校を卒業して32年、20、30、40代がすっぽり抜けての再会……CMにもありましたが、「浦島太郎は亀を助けておじいさんになりました」これだけ書かれた、御伽草の本のようなものです。話すことが多すぎて、

時間がいくらあっても足りず、その不完全燃焼の気持ちですが、二回目開催につながり、それでも時間が足りず、この会は延々に続いていくのかもしれない……と感じてしまいました。出席された方々も、同じ気持ちになられたのではないかと、思っています。

見た目がどのように変わっても、未曾有の大不況の渦中においても、子供のときの顔を一瞬のうちにも重ねることができると、人間てすごいな、と思います。眉間にしわのよるような日常のさまざまな問題も、何万光年の彼方に吹っ飛ばすような、素敵な時間が持てたきっかけになった今回の学年幹事という役目に、感謝しないといけないでしょう。

年齢的に、親族の不幸、介護など、徳島に帰る理由も、だんだん重たいことが多くなってきたように思います。昨年、一昨年、法事などの所用で帰省した折、城東高校近辺を通ることが何度ありました。昔好きだった店はほとんどなくなっていました。新しい校舎に様変わりしたとはいえ、学校が同じ場所にあるだけで安堵するものですね。そして、私の記憶のファイルに上書き保存されていきます。母校というものは、そういうものなのかもしれません。

笑って飲んで、また笑う、同窓会とは、そういう集いだと思います。今年の総会も、楽しい集いになるよう、準備してまいります。

会費納入のご案内

年会費の納入にしましては、なるべく同封の振替用紙をそのままご使用頂きATMをご利用下さい。支部の手数料負担が120円(窓口)→80円となります。

徳女40回以前の方々、並びに学生の年会費は免除となります。

事務局からのご連絡

事務局メンバーは2年が任期となります。本年、9月以降に支部長、副支部長、会計をご担当頂ける方を募集致します。学年持ち回りです。城東23回、25回、27回以降の方を中心にご担当頂ける方を募集致します。

収支決算表

平成19年9月1日～平成20年8月31日 (単位:円)

収入		支出	
前年度繰越金	580,936	総会費用	498,500
維持会費	595,000	印刷費	244,100
総会会費	510,000	通信費・雑費	157,808
助成金	50,000	会議費	25,803
寄付金	67,000	手数料	42,055
協賛金	35,000	慶弔費	25,750
利子	316	サーバー維持費	57,624
		小計	1,051,640
		次期繰越金	786,612
	1,838,252		1,838,252

貸借対照表

平成20年8月31日現在 (単位:円)

借方		貸方	
ゆうちょ・総合口座	700,013	次期繰越金	786,612
ゆうちょ・振替口座	34,780		
現金	51,819		
合計	786,612	合計	786,612

城東渭山同窓会 支部長 戸田浩二(城東26回)
 東京支部 副支部長 伊賀公一(城東25回)
 会計 秋田ゆう子(城東26回)